

さかガエ

市議会だより

2010年7月20日

No.106

6月定例会

主な内容

- 審議した議案の結果…………… 2～3^P
- 意見書…………… 4
- 一般質問…………… 5～7
- 市民の声
あらがまち紹介ほか…………… 8



15 ハートビジョン・鶴田 晴子 氏

街並みギャラリー

～彫刻を見て歩く～



■発行 寒河江市議会
■編集 市議会だより編集委員会

この市議会だよりの用紙は再生紙を使用しています。

6月定例会

6月定例会は、6月1日から16日間の会期で開かれ、人権擁護委員の推薦の件のほかに、繰越計算書の報告3件、専決処分承認3件、補正予算3件、条例改正5件、市道路線の認定等4件を審議した結果、いずれも原案のとおり同意、承認、可決しました。また、請願3件は採択、陳情1件は継続審査となり、議会案5件を可決しました。



同意

◇人権擁護委員の推薦

鹿間 豊氏（白 岩）

池田郁太郎氏（寒河江）

議案に対する 主な質疑

情報公開条例の一部改正 について

議員 現条例では、知る権利を保障しているが、改正案では、知る権利を尊重すると文言を変えている。その場合、請求者側からして法律的に格差が生じないのか。請求者の権利が後退するのではないか。

答弁 このたびの条例改正の趣旨は、市が保有する情報は何人にも公開されることが必要であることから、市の活動状況等を説明する責務を明確にしようとするものです。さらに、今回、市政に関する情報の公開を請求する権利を明確にしたということ、知る権利を

保障することを第1条の目的の中に明確化したということ、知る権利を「保障」から「尊重」に改めることで、知る権利が狭められたということではまったくありません。改正の趣旨に沿いながら、情報の公開が拡大され、市政をより一層開かれたものとして、市政に対する理解と信頼を深めて、民主的かつ効率的な市政の推進を図るということで、知る権利を最大限尊重し、保障していくという考えはもっておりません。なお、先進地の例も参酌しながら文言の整理を図ったところです。

全国市議会議長会表彰状・ 感謝状贈呈

◇表彰状（15年以上在職）

新宮 征一 議員

伊藤 忠男 議員

高橋 勝文 議員

◇感謝状（産業経済委員功績）

高橋 勝文 議員

議会トピックス

議員の審議会委員等の日額報酬などを廃止

～議会活性化検討委員会提出の議会案可決～

市議会では、市行財政改革指針の策定に合わせ、今年1月に、議会内部における行財政改革や議会活性化策を協議するため議員6名で組織する寒河江市議会活性化検討委員会を設置し、議会改革に向けた検討を重ねてきました。

同委員会では、6月定例会に、①議員として市の各種審議会委員等に就任している場合の委員報酬（日額）の廃止と、②議会閉会中に職務に従事した議会運営委員会と特別委員会の委員に支給している費用弁償（日当）を廃止する条例改正案を提案し、いずれも全会一致で原案のとおり可決され、7月1日から施行されました。また、議員として就任しているその他の各種団体の役員についても、市の審議会委員等に準じ、同様の扱いとなりました。

■報酬支給が廃止された審議会委員等（議員のみ）

「振興審議会委員」「表彰審査委員会委員」「広報委員会委員」「行財政改革推進委員会委員」

「民生委員推薦会委員」「市営住宅入居者選考委員会委員」「国民健康保険運営協議会委員」

「都市計画審議会委員」「水防協議会委員」「介護保険運営協議会委員」「地域福祉計画策定・推進委員会委員」

「土地開発公社理事・監事」「体育振興公社理事・評議員」「社会福祉協議会理事・評議員」

提出議案と審議結果

議案番号	議案名等	審議結果
議第37号	平成22年度寒河江市一般会計補正予算(第1号) 住宅の新築・増改築経費の一部を助成する住宅建築推進事業費2,000万円を追加するもの	全会一致で可決
議第38号	平成22年度寒河江市一般会計補正予算(第2号) 女性特有のがん検診推進事業費715万4千円等の計上、農産物ブランド化推進事業費3,598万4千円、道路新設改良事業費4,440万円等の追加など、1億1,106万2千円を追加するもの	全会一致で可決
議第39号	平成22年度寒河江市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 非自発的失業者に係る国民健康保険税軽減措置システム改修費236万3千円を追加するもの	全会一致で可決
議第40号	寒河江市情報公開条例の一部改正について 開かれた透明性の高い行政の推進に向け、「何人も」公開請求できるよう情報公開請求者の制限等を撤廃するなどの改正をするもの	多数で可決
議第41号	寒河江市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について 育児のための時間外勤務の免除制度や短期の介護休暇を新設するなどの改正をするもの	全会一致で可決
議第42号	寒河江市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について 法律の改正に伴い、育児休業の取得等に係る所要の改正をするもの	全会一致で可決
議第43号	寒河江市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について 市立病院医師の勤務条件の改善を図るため、管理職の医師に対する時間外勤務手当等の支給について改正するもの	全会一致で可決
議第44号	寒河江市産業集積の形成及び活性化のための固定資産税課税免除条例の一部改正について 課税免除対象となる業種を追加するための改正をするもの	全会一致で可決
議第45号	市道路線の廃止について 道路網の再編のため、3路線を廃止するもの	全会一致で可決
議第46号	市道路線の変更について 道路網の再編のため、3路線の起点や終点を変更するもの	全会一致で可決
議第47号	市道路線の認定について 39路線を市道に認定するもの	全会一致で可決
議第48号	寒河江市公共下水道寒河江市浄化センターの建設工事に関する協定の締結について 条例により、契約にあたって議会の議決が必要とされているもの	全会一致で可決
議会案第3号	寒河江市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部改正について 議員として審議会委員等になっている場合の日額報酬の支給を廃止するもの	全会一致で可決
議会案第4号	特別職に属する者等の旅費、費用弁償及び実費弁償に関する条例の一部改正について 議会閉会中の会議に出席した議会運営委員等に対する日当の支給を廃止するもの	全会一致で可決
請願第3号	30人以下学級実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出に関する請願	全会一致で採択
請願第4号	口蹄疫にかかる万全の危機管理を求める意見書提出に関する請願	全会一致で採択
請願第5号	主食用米の緊急政府買い入れ等需給調整対策の実施を求める意見書提出に関する請願	全会一致で採択
陳情第2号	肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する陳情	多数で継続審査

※請願3件の採択を受け、意見書提出に係る議会案3件が可決され、直ちに政府へ意見書を送付しました。

意見書

● 口蹄疫にかかる万全の危機管理を求める意見書

宮崎県内において、4月20日、口蹄疫の疑似患畜が確認されてから、いまだ終息せず非常事態となっている等、生産現場は、未曾有の危機的状況に直面している。

口蹄疫の問題は、当該県だけに止まらず、感染の拡大いかんによっては、我が国畜産の存亡にかかわるとともに、国民生活にも重大な影響を及ぼす極めて深刻な問題である。

ついては、感染をこれ以上拡大させないため、全国の飼養施設の防疫対策はもとより、国の責任において、多くの県外者が乗降する全国の空港や新幹線の駅舎など、公共交通機関等における防疫対策を強化し、危機管理に万全を期すとともに、万が一、宮崎県以外での家畜の異常発生時には、迅速・適切な初動態勢をとるよう、強く要望する。

(送付先 内閣総理大臣、農林水産大臣)

● 主食用米の緊急政府買い入れ等需給調整対策の実施を求める意見書

稲作農家は、今年度導入された戸別所得補償モデル対策での米に対する新たなメリット措置により、水田農業の経営安定と所得の増大を期待している。しかし、21年産米の契約・販売進捗は大幅に遅れており、こうした状況が続けば、22年産米生産数量目標が達成されても、持ち越し在庫の発生と新米価格の下落が必至であり、稲作農家の不安は高まっている。

ついては、政府米買い入れ枠の拡大および棚上げ備蓄の早期実施等、過剰米を市場から隔離する対策を早期に講じること、並びに戸別所得補償制度の本格実施にあたって、水田利活用自給力向上事業における激変緩和措置の継続について、強く要望する。

(送付先 内閣総理大臣、農林水産大臣)

● 30人以下学級実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書(抄)

子どもたちに豊かな教育を保障することは、社会の基盤づくりにとって極めて重要なことから、「教育は未来への先行投資」であることが多くの国民の共通認識となっています。

(中略)

将来を担う子どもたちへの教育は極めて重要です。子どもたちが全国どこに住んでいても教育の機会均等が担保され、教育水準が維持向上されるように施策を講じる必要があります。こうした観点から、2011年度政府の概算要求に向けて下記事項の実現について地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出いたします。

記

- 1 昨年行われた総選挙の際の各党のマニフェストや政策集に位置づいている、少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。
- 2 教育職員の人材を確保するための給与改善を行うこと。当面、定数改善や超勤縮減策を行ったとしても残る超勤分に見合う給与措置(警察官の時間外勤務手当に相当する財源措置：給料の12%)を行うこと。
- 3 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に復元すること。

(送付先 総務大臣、財務大臣、文部科学大臣)

議会ホームページ案内

議会ではホームページを開設しております。是非ご覧ください。

アドレス <http://www.city.sagae.yamagata.jp/gikai/>



地球温暖化防止対策について

杉沼孝司 議員

①地球温暖化が進むと氷河が溶け出して海水面が上昇し、海拔の低い地域では水没の危機に直面したり、異常気象の多発、マラリア等感染症の拡大と言った悪影響が予測される。地球温暖化の原因は、二酸化炭素等の温室効果ガスと言われるが、市有施設をはじめ、市全体の二酸化炭素削減計画はどうなっているのか。

②二酸化炭素を排出しないクリーンエネルギーとして、国や県でも補助制度を設け、力を入れている太陽光発電装置の設置について、寒河江市住宅建築推進事業補助金でも補助対象としているが、申請が0件と言うことは、使い勝手が悪いのではないか。二酸化炭素削減のため、独自の補助事業として多くの市民に活用してもらえらる事業とすべきと思うがどうか。

③クリーンエネルギーとして全国的に注目を集めている小水力発電やマイクロ水力発電に取り組むべきと思うがどうか。

市長 ①市有施設における地球温暖化対策となる「実行計画」は、平成23年度の策定を目指します。また、地域全体の計画である「地域推進計画」の策定については、今年度の第五次振興計画の見直しでも「環境」は大きなテーマとなっておりますので、その検討状況や国県の動向も注視してまいります。

②「住宅建築推進事業」における太陽光発電システム設置に係る補助は、他市と比べても遜色のないものとなっております。今後、この事業をもっとPRし、太陽光発電システムの設置促進を図ってまいります。

③クリーンエネルギーとして期待されているものは、太陽光発電、小水力発電、マイクロ水力発電のほかにもバイオマス発電など様々なシステムがあります。寒河江市は水や自然に恵まれておりますので、今後、大局的な見地から検討してまいります。



高齢者福祉について

工藤吉雄 議員

年毎に高くなる高齢化率。あわせて増加する一人暮らし高齢者世帯、高齢者夫婦世帯。また、最近多く話題となる高齢者の孤独死の問題。こうした状況の中、安心して暮らせる長寿社会を目指し、地域での見守り支援の体制づくりが必要と思うが、見守る必要のある世帯数の推移と地域見守り支援の方策を伺いたい。

また、第4期介護保険事業計画中の特別養護老人ホーム、認知症対応型グループホームの施設整備はどの程度進んでいるのか。

市長 65歳以上の寝たきりの方、一人暮らしの方、認知症、高齢者夫婦世帯などが見守りの必要な世帯と認識しております。平成18年は1648世帯、平成21年は2033世帯と増加傾向にあります。

現在、民生児童委員や介護支援専門員による見守りに加え、ふれあい給食やふれあい元気サロンなどの事業を通して、見守りを行っておりますが、今年度策定予定の地

域福祉計画の中で、更にきめ細やかな地域での見守り支援システムづくりを考えてまいります。

また、施設整備は、今年度、特養「長生園」で20床、グループホーム「あしたば」で9床、来年度特養「しらいわ」で30床の増床が計画されており、ほぼ計画通り整備される予定であります。

災害時要援護者避難支援について

災害時の個別避難支援プランは、登録制で、該当条件の一つに65歳以上一人暮らし高齢者世帯や高齢者みみの世帯とあるが、現在の登録世帯数はどのくらいあるのか。

また、地域見守り支援を受ける世帯と個別避難支援を受ける世帯について、情報を共有し、相互の支援活動に活用できないのか。

市長 今年5月末で715名の登録があります。今後、登録の拡大とともに、情報の共有化と相互活用について、工夫・研究し、一層努力してまいります。

保育行政について



佐藤 陽子 議員

本市は、みなみ保育所、にしね保育所の2箇所を指定管理者制度に移行してきたが、公立保育所は様々な環境にある子供たちの背景も視野に入れた保育が必要であり、その責任がある。指定管理者に移行することは、市立保育所間に保育士の待遇や賃金の格差が生じ、ベテラン保育士の経験が活かされないなどの弊害が出ると思う。行政の責任放棄にもなりかねない。これ以上指定管理に移すべきではないと思うがどうか。

市長 指定管理者制度導入は、多様化する保育ニーズに対し、効果的にサービスを提供していく目的で進めております。土曜日の午後での延長保育や指定管理者が経営する幼稚園との行事の相互参加等、保護者からも好評を得ております。今後とも、より良い保育サービスを提供していくために官民によるサービスの相乗効果を図りながら、制度導入の検証を行い、子育て支援の充実に努めてまいります。

教育行政について

① 中学校給食業務委託にプロポーザル方式を採用したのはなぜか。
 ② 受託者の公募に1件しか応募がなかったことをどう思うか。
 ③ 他に応募がないことで、その事業者が委託することになるのか。競争相手がいないことでの弊害はないのか。

④ 山形など周辺に範囲拡大するなどして再募集する考えはないか。
教育委員長 ① 受託希望者を公募のうえ給食業務の管理・運営等に關する提案書を審査し、安全・確実に遂行できる事業者を公平・公正に選定するためであります。
 ② 事業者が応募要件等を勘案して総合的に判断した結果であると考えております。

③ 「委託事業者選定審査会」の審査により決定いたします。契約に際しては、市が求める要件を満たすようチェックしてまいります。
 ④ 現在の選定手続きを進めてまいりたいと考えております。

男女共同参画社会の実現について



辻 登代子 議員

本市が今年3月に策定した「行政改革指針前期アクションプラン」の中に掲げている各種審議会における女性委員の比率を30%とする目標は、どのような方法で達成していくのか。

また、「男女共同参画まちづくり条例」の制定について、どのように考えているか。

市長 選出元の団体に女性委員の推薦を依頼したり、公募委員に女性枠を設定するなど推進してまいります。

意識の浸透と機運の醸成を図り、まずは男女共同参画計画の策定に繋げたいと考えております。

子育て支援について

① 安心して子どもを産み、子育てしやすい環境の充実に目指すため、「子育て知恵袋」のような本の配布と、乳児家庭訪問の事業として、「子育て支援員制度」を実施してはどうか。

② 全国的に小児科医が不足して

いるために、子育てする上で最も重要な子供の命を守る診療が十分になされていない現状であるが、本市の子育て中の親たちから強い要望が寄せられている市立病院への夜間小児救急の設置について、どのように考えるか。

市長 ① 千葉県市原市の「子育て知恵袋」と「子育て支援員制度」は、多くの市民が協力し、子育てを応援する取り組みであり、子育て支援を推進していくうえで大いに参考にしながら、本市の子育て環境の充実・強化に努めてまいります。

② 市立病院に小児科を常設し、救急も含めた小児医療を行うことが望ましいと思いますが、深刻な医師不足等から難しい状況となっております。

小児救急は、寒河江・西村山地域の課題として医師会や近隣自治体などと協議を行い、その対策を検討していかねばならないと考えております。



政治姿勢について

川越 孝男 議員

諮問機関は運用しだいで功罪がある。効果を発揮するためには、委員の選任のあり方や、ゆとりのある審議期間の確保。それに事務局体制の強化は必須の要件と思うがどうか。

市長 審議会の目的や内容に応じ適切に委員を選任し、できるだけゆとりを持った審議期間の設定に努め、通常業務内で対応できない場合は業務調整や人員配置など適宜対応したいと考えております。

教育行政について

小学校(柴橋、西根、高松給食)の調理業務民間委託について問う。

①現在の業務委託契約は職安法第44条に抵触しないのか。

②高松小の入札は予定価格の69%で落札しており、安ければ良いのか。調理師の賃金はいくらか。寒河江市自らが「官製ワーキングプア」をつくり出すことになり、改善を図るべきと思うが。

③柴橋小の委託契約は入札時は低額で落札し、その翌年と翌々年

は高額で随意契約するパターンを繰り返してきた。そのやり方、及び随意契約に際し、契約相手からきり、見積もりを取らず「規則にも反する官製談合では」との声があるが監査委員の見解を問う。

教育委員長 ①調理業務は、受託業者の現場責任者の指揮監督下で行われており、法に抵触することはないと考えております。

②委託金額は、法令に基づく競争入札の結果であり、契約後は、業務が適切に遂行されるよう常に実施状況を把握し、必要な場合は改善を求めていく考えであります。調理師の賃金については、あくまでも受託者(雇用者)と調理師の間の問題と理解しております。

監査委員 ③3年間同一業者に委託する方針により、契約相手方が特定されることから、二者以上の見積書徴取により難い場合の事由と解釈できます。現在の債務負担行為による業務委託の手法が望ましいと考えられます。



寒河江市の観光振興について

石山 忠 議員

市長は、まちづくりの柱として「元気なまちづくり」「大きな未来都市づくり」を掲げ、まつり、イベントについて市民役の原点に振り返り直しを行い、にぎわいのある新たなまつりの構築と広域的な新たな観光資源の発掘に取り組み、新たな寒河江の活力を構築するとしているが、まつりの見直し検討の経過並びに取り組みの内容、今後の進め方、さらに、市民との協働が欠かせないことから、関係団体、関連組織に対する考え方、認識、課題等について伺いたい。

観光資源に関連して、八幡公園のボンボリ中止や桜並木の大胆な剪定についての経過とともに、桜の丘や寒河江川堤防の桜等、市内資源の整備と活用、観光さくらんぼ園の後継者対策も含めた支援策について伺いたい。

さらに、歴史と伝統を充分検証し、寒河江の「宝」を大切にしたい「着地型」ツアー等新たなイベント開発を望むがどうか。

市長 四季のまつり実行委員会では、4月に「まつり充実対策検討委員会」を設置しており、市としてもその中で充実を図るための提案をしてまいりたいと考えております。

ボンボリ設置については、これまで出店してきた桜まつり協力会から八幡公園へは出店しない旨の申出があり、設置を取りやめたと聞いております。

市道の桜並木は、果樹園への悪影響を心配する声や交通安全の確保から剪定を実施しましたが、今後とも、桜と果樹園が共存できる管理方法を研究してまいります。

市内の観光資源の整備と活用については、桜の名所を組合せた西山山広域観光ルートの構築など、幅広い視点に立って検討を進めてまいります。

観光面において本市は発展する潜在能力を有しており、関係者が一体となって総合的に取り組んでいくことが肝要と思っております。

市民の声



日和田
川野 秀子さん

私が常々考えていること。その一は、寒河江の子どもたちが心身に健かに育ってほしいこと。育む両輪はバランスのとれた食事と規則的な生活リズム、それを躡るのは大人。中学校にいよいよ給食導入、有意

義に活用し実現させたい。その二は、どの店でも寒河江の旬の食材を使ったごつつおが食べられること。和食、中華、洋食に驚きの活かし方をして客を呼ぶ、その鍵を握るのはシェフのみなさん。

その三は、やっぱり慈恩寺のお山に大勢の人が上がって来てほしいこと。この片田舎にあるすばらしい平安や鎌倉の世の仏像群に對峙して何かを感じてほしい!!その方策をみんなで考えていきたい。

おらがまち紹介

下河原町会長
川嶋 勝利さん

下河原地区は、清流寒河江川のほとりに位置し、恵まれた自然環境の中にあります。川の畔には遊歩道があり、朝夕散歩を楽しんでいる人達の交流の場となっています。また、7月ともなると、鮎釣りで大いに賑わう地区でもあります。住みよい町、明るい町を目標に、地域活性化の一端

議会日誌

(平成22年4月21日～平成22年7月20日)

- 4月
 - 21日 定例議員懇談会、各常任委員会協議会、会派代表者会議
 - 27日 議会活性化検討委員会
- 5月
 - 18日 議会活性化検討委員会
西村山地方議長協議会定期総会
 - 21日 定例議員懇談会、全員協議会、スポーツ議員連盟総会、森林・林業・林産業活性化推進議員連盟総会、会派代表者会議、建設文教常任委員会協議会
 - 25日 議会活性化検討委員会
 - 26日 全国市議会議長会定期総会
 - 27日 議会運営委員会、常任委員長会議
- 6月
 - 1日 議会運営委員会、第2回定例会(～16日)、全員協議会
 - 3日 議会運営委員会
 - 7日 議会運営委員会、議員懇談会、会派代表者会議
 - 11日 議会運営委員会、会派代表者会議
 - 15日 議会運営委員会
 - 16日 議会だより編集委員会、厚生経済常任委員会協議会
 - 18日～19日 寒川町議会議員一行来寒
 - 29日 議会活性化検討委員会
 - 30日 西村山地方議長協議会議員研修会
- 7月
 - 6日～8日 総務常任委員会行政視察
 - 9日 議会だより編集委員会、議員懇談会、会派代表者会議
 - 14日 福島県伊達市議会行政視察来寒
 - 14日～15日 西村山地方議長協議会行政視察



ビアガーデンでの楽しい語らい

として、今年も地区民上げの隣組対抗ソフトボール大会が開催されます。今年で32回目を数え、恒例行事となつていきます。試合をする中で、色々な珍プレー、好プレーが出るため、子供からお年寄りまで対抗意識が出て、大いに盛り上がります。試合後、みんなの交流の広場として、高齢者・若者センターを囲み、ビアガーデンが開催され、日頃の様々な思いをお互い語り合い、明日への活力の場として一日を過ごします。

編集後記

本市の一大イベントの一つ、「第8回花咲かフェアINさがえ」は、今年も大変な賑わいで、7月4日に閉幕しました。

その間、姉妹都市・神奈川県寒川町議会議員一行5名が、6月18、19日に親善訪問のため来寒され、花咲かフェアを見学されました。今後さらに、両市町の交流を深めていきたいと思えます。

6月議会は、一般会計補正予算など24議案が可決され、閉会いたしました。世界的金融危機に端を発した景気低迷が続いており、本市においても財政運営が厳しい現状ではありますが、市民が安全安心に暮らせるまちづくりを目指し、議員一同心を一つにして頑張つてまいりたいと思えます。

(辻記)